



杉谷ひろば

No.14

杉谷さんとともにまちを創る会
2012年 4月 1日発行

向日市寺戸町辰巳4-1-101号
杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>

3月議会 報告特集

市民の知る権利に 応える市政と議会に



向日市議会は3月の定例会で、新年度の市の事業予算を決めました。JR向日町駅のエレベータ設置や市内全中学校のエアコン設置など懸案事項の実施がようやくが決まった一方、市内巡回バスや公共の足の確保は先送り、国保料の限度額値上げや原発事故から市民を守る対策が無いなど問題も。また公立第3保育所を来年3月末で閉園することを、保護者・市民の反対の声を押し切って決めました(2面参照)。また杉谷さんは、市民がまちの情報を知り、意見を言う権利が保障されていないと訴え「市民の知る権利に応える市政と議会」



に変わらなければならないと問題提起しました。そして「議員報告会を公民館でおこなう」ことを求め、行政不服審査請求をしました(3面参照)。

4月14日(土)に杉谷さんの議会報告会を開催し、質疑と意見交流をします。また私たちの大きな関心事である「JR向日町駅のバリアフリー」と「市内巡回バス」について、まもなく動きがあるため、5-6月の例会(毎月第2土曜の午前中)で取り上げます。みなさんご参加ください(事務局・佐藤)。

皆さんから寄せられた声

●中学校の給食の検討を！

現在は弁当制ですが、共働き家庭も多く毎朝の弁当は大変です。また家庭によっては、毎日コンビニのお弁当やパンの生徒もいるそうです。栄養面から是非検討お願いします。

●議会の不思議・不可解

私は向日市に住み始めて35年になりますが、恥ずかしながらこのたび初めて市議会を訪れました。傍聴したのは3月6日と22日の本会議(22日は「厚生文教委員会」も)。どちらも午前の部だけで失礼をしましたが、とにもかくにも驚い

たことは議場の何とも不思議で何とも不可解なその構造でした。傍聴席から我々の選んだ議員の席はまったく見えないようにしてあるのです。また、市長などに対して質問に立つ議員は同僚議員のほうに向かって語ります。当の市長はというと、その横で質問者と同じ向きでこれを聞いています。私はこれを見て、私たちの町の「ミンシュシュギ」は実はまだまだこれからなのだと思います(S)。

4/14 杉谷伸夫の議会報告会

●日時：4月14日(土)午前10時~12時

●場所：向日市民会館

※どなたでも参加できます。参加無料。

事前連絡不要

(問合せ：090-8384-5984 杉谷)



連絡先

TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-932-1325

メール peace@fa2.so-net.ne.jp ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>

3月議会報告

懸案の事業がスタート 第3保育所閉園を決定

★新年度スタートの懸案の事業

(先月発行の会報No.13を参照ください)

●JR向日町駅のエレベーター設置他

2013年度完成予定

5月頃、JR西日本が事業概要を公表し、市民の意見を聞く機会が持たれるようです。

●全中学校にエアコンを整備

設置工事は夏休みなので、残念ながら今年の夏の山場はエアコンは間に合いません。

残念！小学校への整備時期は不明。

●子どもの医療費への助成拡大

①小学校卒業まで、月3,000円を超える通院医療費を助成(京都府の制度改正)

②6歳まで、月200円を超える通院医療費を助成(従来は3歳まで・向日市独自の制度改正)

★問題を残したもの

▲公立第3保育所の閉園を決定

閉園せず残すよう議員提案も出され、継続審議の動議も出しましたが、10対9の僅差で閉園を決めてしまいました。また公立保育所の保護者会会長全員が連名で、閉園決定前に市長との面談を求めましたが、市長は応じませんでした。

▲国民健康保険料の上限額を73万→77万に

▲介護保険料を18%～35%アップ

あれはどうなってるの？

競輪場は？

「競輪場いつ無くなるの？」とよく聞かれます。競輪場を運営する京都府は廃止の方向ですが、大津競輪場廃止の影響で向日町競輪場の売り上げ低下に少しブレーキがかかり、廃止決定の判断を少し先送りする可能性が出て来ました。議会に特別委員会が設置されていますが、存廃両意見があり議論は進んでいません。

市内巡回バスは？

昨年9月から「向日市地域公共交通検討委員会」で市民アンケート調査を行い、3月に検討結果を報

告する予定でしたが、遅れて5月頃になる見込み。予算を940万円も使っており、「何も走らせない」ことは許されないと思います。早く市長は決断し、市民に役立つ巡回バスにするため、コースなど詳細の十分な検討を行うことが大切だと思います。

議会改革は？

議会基本条例の調査研究等を目的とした特別委員会(私が副委員長)で、議会改革で有名になった亀岡市議会に4月25日に視察に行きます。また議会主催の市民への議会報告会を開催していくことを、特別委員会全員賛成で確認しました。問題は中身です。議員に都合の良い条例や報告会であってはなりません。市民の権利が保障される内容にするため、引き続き取り組みます。

向日市議会 2012年3月定例会 主な議案に対する各議員の態度一覧(杉谷調査)

◎…全会一致

(○:賛成、×:反対、△:退席)

採決結果	会派	共産党					新政クラブ					公明党			市民クラブ		無会派					
		議員名	松山	常盤	丹野	北林	和田	山田	天野	新矢	小野	西川	永井	辻山	長尾	富安	石原	杉谷	飛鳥井	中村	磯野	太田
	議案名																					
○	国民健康保険条例等の一部改正(限度額アップ)	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
○	介護保険条例の一部改正(保険料18~35%アップ)	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
○	保育所設置条例の一部改正(第3保育所の閉園)	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	○	○	×
○	一般会計予算	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	○	○	○
○	国民健康保険事業・後期高齢者医療・介護保険事業・下水道事業の各特別会計予算	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	○	○	○
○	水道事業会計予算	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	○	○	○
◎	●全会一致で可決された主な議案 ・一般会計および各特別事業会計の補正予算 ・市営住宅管理条例の一部改正 ・物集女財産区・寺戸財産区の特別会計予算																					

杉谷伸夫の 議会論戦

■ 行政情報を積極的に市民に公開を！

議会に提案されている議案や予算案が、肝心の市民には全く知らされていません。しかも提案される内容は、提案理由や目的や説明も何もないので、市民が見ても理解できません。

私は、議会への提案は主権者である市民への提案である。市民がわかるように提案理由・目的や説明をつけて提案し、ホームページや公共施設に公開し市民に知らせることを求めました。

副市長から、「議会へ提案した議案はできる限りすべてホームページに掲載するよう検討する」と答弁がありました。

■ 議員による議会報告会を公民館で！

市民代表である市議会議員は、知り得た情報を広く市民の皆さんに伝え、意見をお聞きする責務があります。市民誰もが参加できる議員報告会は、議員としての責務であると同時に、市民の知る権利を保障するものですが、向日市では、市民会館を除く6つの公民館、6つのコミュニティセンターのすべてで「政治的利用である」として使用が許可されていません。

私は議会一般質問でこの問題を取り上げ、公民館の使用不許可に対して3月8日に向日市長に対して不服審査請求を行いました。3月22日に向日市議会が開かれ、11対7で「不許可」を追認する結果となりました。とても残念です。今回の議会の多数意見に、私は納得しませんが、一方、議員や議会と公民館の関係について、今後も改めて考えていこうとの声が出ています。また、議会としての報告会を開催していくこと

は、ほぼ全体の合意になっています。もっと自由に市民が意見交流できるような、開かれた向日市にしていくため、これからも頑張ります。

■ 共同住宅のバリアフリー改修に対する公的助成制度を提案しました！

マンション等でも居住者の高齢化が進み、階段を使って下に降りてゴミ出しに行くのも困難な人が増えています。こうした住民の声に基づいて、共同住宅の共用部分のバリアフリー改修に対する公的助成の制度の提案を行いました。

10年ほど前から助成制度を実施している神戸市の担当部署に聞き取りにいった所、分譲マンションを中心に毎年約40件の利用実績があり、大きな予算を必要とせず、バリアフリー促進の効果を目的としたものであるとのこと。「検討する」との市の答弁を得ましたが、今後更に調査し、実現へ具体化を図っていきたいと思います。

■ 給食食材の放射能測定を求めました！ 放射能副読本に要注意！

長岡京市では今年度、放射能測定器を購入し、保育所や学校給食の食材の放射能測定を開始します。向日市でも実施するよう求めましたが、残念ながら向日市はそのつもりは無いようです。

また、文科省が発行した「放射能副読本」の問題点を指摘しました。市内の全小中学校に届いています。「放射線はそんなに怖いものでなく、余り心配いらない」という印象を与える内容です。お子様がいる家庭では、チェック下してみてください。



原発の再稼働を認めないことを 求める意見書を全会一致で採択

福島原発事故の原因究明もまだなのに、大飯原発を再稼働しようとする動きを止めようと、杉谷議員が提案した意見書が向日市議会でも全会一致で採択され、国に提出されました。「国が東京電力福島第一原子力発電所事故を反映した暫定的な安全基準を示し、地元住民の理解が得られない限りは、原子力発電所の再稼働を認めないことを国に求める」という内容です。

声

議会を傍聴して

公民館の使用不許可問題について審議した、3月22日の向日市議会本会議と厚生文教委員会を傍聴しました。質問も答弁もレベルが低く、辛気くさくてがっかりしました。市議会は動かないし、難しいですね。でも、杉谷さんが不服審査請求して問題提起したことで議会が開かれ、問題が公に議論されたので、よかったんじゃないでしょうか（Y）。

会員短信

フクシマの衝撃

山下 明子

2月22日から一ヶ月間、調査研究でインドに行っていました。

私はインドの最下層の貧しい女性たちとの長いつきあいがあります。研究もあって、毎年のようにインドを訪問するのですが、今年の3月11の時も、今年の一周年もインドにいました。昨年と今年ではインドの人々の関心が異なっていました。昨年は、当然かもしれませんが、圧倒的な同情心でした。今年は、その後どうなっているかという質問が多く、フクシマ事故からインドのエネルギー問題を考えるという集会にも出ました。

フクシマは世界に衝撃を与えました。日本では原発についての正確な情報が十分ではなかったもので、今回の事故で初めて、恐ろしい現実を知った人が多いと思います。原発についての科学的な問題点だけではなくて、巨大企業と行政と学界が利権でつるんでいた事実なども含めてです。

日本でも同様ですが、インドでも、国家の指導者層と一般の大多数の貧しい人々との間にある組合や大学、司法組織、マスコミなどが自立的ではなくなっています。だから農村や都市の最下層の女性たちの多くのグループ活動、地域住民、市民の自治的な運動の広がりがとても重要になっています。停電が多くて困ってはいいても、「だから原発を」、と言わない知識を、フクシマと日本が与えたのは皮肉なことです。一昨年までは、「ヒロシマ・ナガサキから復興した素晴らしい日本」などと言われて、返事に困ってしまいました。

京都・市民放射能測定所

5月19日オープンへ！

佐藤 和利

定の訓練や運営の詳細を詰めた上で、5月19日に市民測定所のオープニング・イベントを行う予定です。ボランティアの測定スタッフが足りないので募集しています！オープンまでに一度、食材の測定実習をかねて市民測定所の見学を予定しますので、行きませんか？（問合せ070-5664-2713）

市民の手で食材の放射能測定を行おう！と、市民放射能測定所の設立を市民運動で進めています。測定所は、京阪「丹波橋」駅前のビルの2階の1室を間借りしました。放射能測定器は予定より早く4月6日に納入されることになりました！測



連載 ポイント解説

向日市の歴史

鈴木 健弘

第7回 かいで 鶏冠井（その2）

長岡宮はこの旧鶏冠井村西部九つの小字地内にあるが、鶏冠井（かいで）という名前はない。楓畑の「かえで」が旧村名「かいで」鶏冠井の起源らしい。『市史』ではこの辺りは自噴水が多く、井戸の辺に楓が植えられていて、その形や色が鶏のとさかに似ているから、鶏冠井と書くようになった由。現在の字になったのは安元二年（1176）のこと。公卿・徳大寺家の別荘がこの地に建てられた説と、いや鶏冠井村の歴史

はもっと古く、平安末期から荘園の置かれた所で、延久四年（1072）には蝦手井と書かれ、（かへるでい→かへるで→蛙の手であり、道が五方に通じる～五差路として考えるのが自然なのだろう）から呼び易い「かいで」となった由。その付近に住居があったのだろうが、それが今どの辺りなのか知る由もない。

当市が向日町の名を冠して、少しずつ住居を増やし広げていく中で、平安末期から鎌倉、室町、戦国各時代の記録はあまり無く、政治、経済、更には文化に付いても、史書に明記される程のものは残っていない。平安京に始まる特大の都の蔭で、静かに存在していたのであろうか。

人々は黙々とこの町を歩いて上洛し、或いは都の西へ下る西国街道の一部であったのだろう。これは21世紀の今日もあまり変わらない当市の現実である。それ故か、改めて考えさせられる政治、経済、文化とその遺産。何故か襟元を冷ややかな風が通り過ぎて行く。